

岡山市区づくり推進事業助成申込書 (身近な交流部門)

平成28年 | 月18日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ みやす つどいじょういんかい
団体名 御休の集い実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ じょういんちよう おおはし みつ
代表者氏名 実行委員長 大橋 貢

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

業名称	第9回 御休の集い(地域の歴史を学び新しい文化を育むまつり)			
事業実施区域(小学校区)	御休小学校区			
①事業の目的	該当事業項目に○を(複数可)	<input type="checkbox"/> ア 防犯 <input type="checkbox"/> イ 防災 <input type="checkbox"/> ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/> エ 支え <input type="checkbox"/> 合い <input type="checkbox"/> オ 健康 <input checked="" type="checkbox"/> カ 自然等 <input type="checkbox"/> キ 特産 <input type="checkbox"/> 物等 <input checked="" type="checkbox"/> ク 人・歴史・文化等 <input type="checkbox"/> ケ その他		
<p>社会において希薄になっている地域社会の人と人とのつながりを見つめ直し、この事業を通じて、子供から高齢者までの三世代の交流を図ることにより、かつての地域社会への現状回復の一助となることを目的とする。また、事業過程を通じて地域住民の連帯意識を高めることもねらいとする。このまつりの名称に「集い」と親しみを込めて名付けたことにもこれらのことが象徴される。</p> <p>手法としては、「中秋の名月」頃に行い、「お茶席」を設けることにより、一番身近である日本文化に老若男女を問わず触れてもらう。また、当日の催しとして小学生の行う和太鼓の披露、中学生の合唱、中間世代や高齢者の集いによる出し物など、三世代の文化交流を行う。</p> <p>また、ここ御休地区は史跡の宝庫であり、当日の会場となる「宮池」においては、今は廃寺となっている西祖禅寺に伝わる梵鐘のレプリカが設置されているところである。</p> <p>これらの地区の歴史を学び、地元の小学生がオープニングで、この梵鐘を打ち鳴らすことにより、日本文化をコンセプトにしたこの「集い」全体に厳粛でありまた、幻想的雰囲気醸し出す。</p>				
業開始年月	新規	継続	9 回目(平成20年10月から)	

②事業内容

○開催日時:平成28年10月1日(土曜日) 正午 ~ 午後4時
雨天時:(小雨決行、延期の場合:10月8日土曜日)

○開催場所:御休地区内「宮池」周辺

○事業内容

(1)地域の歴史を学ぶ

いわれのある西祖禅寺(廃寺)の梵鐘を小学生が打ち鳴らす。

梵鐘のいわれについて話を聞く。

(2)三世代の文化交流

- ・ 御休小学校の児童による和太鼓の披露。終演は指導者の先生との共演。
- ・ 地元の間世代における傘踊り、銭太鼓による新しい文化の創作。
- ・ 高齢者を中心にした誰でも参加可能な歌声披露。

(3)身近な日本文化に触れる

- ・ 中秋の名月をモチーフに、茶席をもって日本の代表的文化に親しみを持ってもらう。
- ・ 当日は来場者約300人分のお茶をふるまう。

(4)地産地消

- ・ 「集い」の名物といえば「豚汁」として、地元の皆さんに定着。
- ・ 地元でとれた秋の産物を使い来場者にふるまう。

(5)子供の遊び場

- ・ 日本古来の輪投げなどの子供の遊び場を設置。

(6)史跡パネル展

- ・ 歴史認識のために史跡パネル展コーナーを設ける。

④企画などの工夫

- ・ 児童の代表が梵鐘を打ちならし、この「集い」の幕開けとなる。
- ・ お茶会においては、小学生が参加者にお茶のお運びを担い、作法を学ぶ。
- ・ 三世代によるステージング。
- ・ 去年は中学校からの出演もあり。
- ・ それぞれのステージの開始には梵鐘の音色でスタート。
- ・ 資金については各町内会に負担金を募り、全体的にできるだけ手作りのものとする。
- ・ 実行委員会組織は、地元の各種団体で構成をし、それぞれが事業の各分野を担う。
- ・ この地区の史跡等の認識のためパネル展示コーナーおよび史跡クイズの開催。

⑤事業の情報公開

- ・ PRについては、手作りチラシを各町内会に配布。また、手作りののぼりを町内会ごとに立てる。市の広報、新聞等にも依頼する。
- ・ 予算立案、決算報告はもちろんのこと、事業実施計画、立案に関しても地元の各種団体から構成される実行委員会に諮り決定し公開する。

新聞・情報誌等への
問合せ先の情報に
ついて

紹介することに同意する

紹介不要

問合せ先名
連絡先

⑥その他PRしたい点

去年は雨にもかかわらず、例年と同様にたくさんの来場者があった。定着しつつあるのではと感じている。上道地区の他の学区にもPRしたい。小規模ながらも毎年続いていく「集い」となるよう期待している。

本来は、中秋の名月でもあることから、月明かりの元で「集い」をしたいところである。また、演出として手作りのキャンドルライトなどで幻想的な雰囲気も醸し出したいところであるが、池の畔であることなど、来場者の安全確保に難点があるため踏み切れないのが現状。継続的に今後も検討していきたい。

③事業の地域性

- ・ 御休地区は、岡山市の東部に位置し、旧街道沿いに面している。かつては商業、文化の行き交う東玄関口となっていた。備前長船の刀剣の鋳物技術に象徴されるように、かつてこの地区内にも多くの鋳物師たちがいたと考えられる。西祖禅寺の梵鐘についても当時のハイレベルな鋳造技術があったと伺われる。
 - ・ 西祖禅寺は岡山市東区西祖の「寺の奥」というところに存在していたと伝えられているが現在では廃寺である。この梵鐘が鋳造されたのは中世であり、そのような梵鐘は全国的にも数多くあり取り立てて珍しいわけではない。ではなぜこの梵鐘に「いわれ」があるのかと言えば、この梵鐘は現在、鳥取県の琴浦町(旧赤崎町)の智積寺に現存している。当時ここ御休にあった梵鐘がなぜ鳥取県までたどり着いたのかは、今となっては謎であり、誰も知る由もない。しかしおもしろいことに650年の時を隔てて、ここ西祖の住民が偶然にも鳥取県において発見することとなったわけである。偶然とタイミングが重なったのは運命的と言えるのかもしれない。この梵鐘は現在鳥取県の重要文化財に認定されており、日本梵鐘100選に認定されている名鐘である。このような「いわれ」があり、ここ御休の象徴としてこの梵鐘のレプリカをかつて作成した。
 - ・ このあたりは、竪穴式住居跡地や古墳、吉井堰、倉安川水門等数多くの史跡の宝庫である。
 - ・ 御休(みやす)という地名もかつて明治天皇が全国行脚の際にこの地で休憩を取られ田植えの風景を眺められたということから御休という名前の由来がある。
- このような歴史的遺産を地元の子供達、そしてここで生活している人々にもあらためて認識してもらい、我がふるさとに誇りを持ってもらいたいと願っている。
- 人、和、歴史、郷土愛、すべてがここに「集う」ものとなる。

⑦事業スケジュール

別紙参照

※1 4月以前からの企画会議があれば、記入してください。

第1回目:	年	月	日	
第2回目:	年	月	日	
第3回目:	年	月	日	無
第4回目:	年	月	日	
第5回目:	年	月	日	

※2 4月以前からの準備・会議があれば、日付と内容を具体的に記入してください。

28年3月上旬
内容(補助金ヒアリングに向けての打ち合わせ会議)

※3 来年度以降の予定

少しずつでも変化を持たせながら継続予定

第9回「御休の集い」事業スケジュール

	全体予定	事務局	交通対策部	会場 策部	町内会
1月	20日・岡山市区づくり補助金提出 → 岡山市				
3月	初旬・打ち合わせ 初旬・補助金ヒアリング				
5月	初旬・補助金請求書提出 下旬・第1回 実行委員会				
6月	初旬・全体部会 下旬・第2回 実行委員会				
7月	下旬・第3回 実行委員会 下旬・協賛企業通知	協賛金依頼通知作成 (事前通知用、当日持ち込み用2文)	駐車場草刈り及び除草		下旬 協賛金集金
8月	初旬・公園許可申請書提出 → 東区役所 ・催し物届け → 保健所 中旬 締め切り 下旬・第4回 実行委員会 ・チラシ完成 下旬・協賛企業宛チラシ送付 ・来賓案内通知	公園許可申請書提出 → 東区役所 ・催し物届け → 保健所 企業宛通知 (お礼文、案内文、チラシ)	中旬・駐車場草刈り及び除草		初旬 締め切り
9月	下旬・第5回 実行委員会 中旬 締め切り 30日・前日準備	弁当数確定 → 下旬 発注 来賓数集計 → 手土産準備		下旬・会場害虫駆除 下旬・仮設スロープ設置 下旬・会場周回草刈り等整備	
10月	1日・「御休の集い」当日 中旬・企業、来賓お礼文通知 下旬・決算	企業、来賓お礼文	誘導看板等設置		
11月					
12月	初旬・第6回 実行委員会(反省会) 下旬・実績報告 → 岡山市				

御休の集い

⑩ 収支予算書

◎ 収 入

項 目	H27年度	H27年度	(単位:円)
	前年度決算	予算額	
岡山市補助金	230,900	283,000	
町内負担金	55,000	55,000	5,000円×11町内会
お茶・豚汁負担金	98,700	98,700	100円×各町内会
協賛金	77,371	129,300	コミュニティー協議会、企業
その他	12	0	
合 計	461,983	566,000	

◎ 支 出

項 目	前年度決算	予算額	備 考
出演料	70,000	70,000	ステージ関係
消耗品費	132,100	170,000	お茶席・豚汁関係含む
委託料	20,000	40,000	舞台設営ほか
燃料代	5,200	10,000	会場草刈り
使用料	60,944	60,000	レンタルトイレほか
通信運搬費	19,000	25,000	切手等
食糧費	138,843	140,000	会議用飲物、当日弁当代等
印刷製本費	15,680	40,000	印刷・コピー代・チラシ
手数料	216	1,000	振り込み手数料
報償費	0	10,000	
合 計	461,983	566,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	<input type="radio"/> 希望しない
----------------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

実行委員会は限られた予算の中で運営をしているため、当日までのすべての資金はまかなえないため。